

区 分	町 長	副 町 長	課 長	参 事	係 長	合 議
決 裁 年 月 日	平成31年1月28日		提 案 者	農林課農業振興係 主事 荻本 正 ㊟		
件 名	八雲町育成牧場運営協議会					
開 催 日 時	平成31年 1月23日 午後 1 時 3 0 分 より		開 催 場 所	役場 議員控室		

### 処 理 - 顛 末

1. 出席者 別紙のとおり
2. 会長挨拶(岩村町長)
  - 昨年は災害の多く大変な年であった。
  - 育成牧場の黒字化は進まないが、焦ってもしようがないと思っている、研修牧場の中で検討していきたい。
3. 協議事項 詳細は別紙のとおり
  - ◇ 平成30年度育成牧場運営状況について
    - 了承
    - 北里八雲牛の月令の大きい牛の増体が良くないので、北里大学のサポートを受けながら改善したい。
      - 大学も昨年はこれ以上に増体が悪かった、高月齢牛には急傾斜地を使わない等の検討を
    - 蹄病がものすごく多かった、通常年だと春先に多発するが7月8月に多くなった、雨天が続きパドックの泥濘化が原因かと思う、泥濘化対策と生石灰の散布を健闘する。
      - 4肢発症の牛もいて重症と思った、増体が良くて発症している事から、高タンパクに起因しているのではないか
      - 高タンパクが理由ならば、秋口に更に増えるのでは、蹄の管理の悪い牛がなるのは分かるが、蹄の管理されている牛も発症した、降雨による泥濘化した時期と重なるので、まずは泥濘化対策を行いたい
  - ◇ 平成31年度育成牧場の運営について
    - 預託牛は現在募集中で8戸51頭の申込、最終的には例年程度(200頭)を少しでも超えるように努力したい
    - 了承
    - 二番草が無駄になっている、もったいないので有効活用を
      - 降雨が続き、収穫時期がずれて一番草のみの収穫となってしまった、予定は一番・二番共に収穫を考えていた
    - 牧場の収支を合わせるのに無理をしてもしようがないと考えている